様　式　Ｃ－１９、Ｆ－１９－１、Ｚ－１９　（共通）

科研費 KAKENHI

# 科学研究費助成事業　　研究成果報告書

平成 ２９ 年　 ６ 月 ２０ 日現在

機関番号：２７１０２
研究種目：基盤研究(C)（一般）
研究期間：2013～2016
課題番号：２５４６３２５９

研究課題名（和文）歯科医療人プロフェッショナルと患者ニーズに関する調査

研究課題名（英文）Investigation about the dental professionalism and patient needs

研究代表者
木尾　哲朗（Konoo, Tetsuro）

九州歯科大学・歯学部・教授

研究者番号：１０２０５４３７

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費）　　3,700,000円

研究成果の概要（和文）：　プロフェッショナリズム教育は欧米の歯学教育のコンピテンスに挙げられている。しかしながら、日本の歯学教育ではやっと議論の緒についたばかりである。そこで、歯科医療人プロフェッショナリズム教育を遂行するにあたり、どのようなニーズがあるか調査を行なった。その結果、既存の教育に加え、生命倫理に関するニーズが高いことがわかった。そこで、その結果を踏まえて、学会で報告を行なった。さらにニーズを明示して、プロフェッショナリズム教育の人的資源の養成と物的資源の開発を実施した。

研究成果の概要（英文）：The professionalism education is one of the major domains for the dental education in Europe and the United States of America. However it was not enough in Japan. I investigated what kind of needs there was on dental professionalism education. As a result, the concept of the life ethics was necessary to progress the dental professionalism education. Therefore, based on the result, I reported it in several conferences. Furthermore, I stated the needs clearly and carried out the training of human resources of the professionalism education and the development of material resources.

研究分野：歯科医学教育

キーワード：歯科医療管理学　プロフェッショナリズム教育　情意教育

**１．研究開始当初の背景**

歯科医学におけるプロフェッショナリズム教育は、欧米や東南アジアの歯学教育ではコンピテンスとしてメジャードメインに挙げられている。しかしながら、日本の歯学教育ではやっと議論の緒についたばかりであった。そこで、歯科医療人のプロフェッショナリズム教育を本邦で推進するにあたり、患者が歯科医療人に期待するプロフェッショナリズムとは何かを明らかにする必要があった。

**２．研究の目的**

日本の歯学教育において、患者のニーズが歯科医療人のプロフェッショナリズムコンピテンスとどのように関わっているかを明らかにすると同時に、その目的、方略、評価の内容についての資源（ツール）を開発する。その上で患者に信頼を与えることのできるプロフェッショナルを育成する教育を推進する。さらには国内の歯学・医学の倫理教育を含む態度教育領域の教育者とともにプロフェッショナリズム教育の方向性を明らかにする。

**３．研究の方法**

患者が期待する歯科医師像のコンピテンスについて質問紙法とインタビュー法を用いて調査し、その結果を構造的に解析する。また、歯科医師の考える歯科医師像についても質問紙法とインタビュー法を用いて調査会席する。さらに、そのような歯科医師を教育する物的資源と人的資源の開発を行なう。

**４．研究成果**

期待する歯科医師像のキーワードには、信頼、誠実等の人間性を示すものと、診断や治療技術といったクリニカルパフォーマンスに関わるものが大半を占めていた。その一方で、よく説明してくれるという関係性のキーワードも見られた。一方で、歯科医師が上級歯科医師を見た時には、上級医の指導力や尊敬できるか、というキーワードが多くを占めていた。

**５．主な発表論文等**
**（研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線）**

〔雑誌論文〕（計　４件）

①鬼塚千絵、中村桃子、前田直美、杉山裕香、中雅美、中村由紀、柴崎桂子、松下智美、渕上祐子、福屋祐子、永松 浩、<u>木尾哲朗</u>、千綿かおる、秋房住郎、柿木保明、寺下正道：九州歯科大学口腔保健学科学生の学習動機づけにおける臨床実習の効果、九州歯科学会雑誌、査読有、第 69 巻第 1 号、2015、pp.13-18、

②<u>木尾哲朗</u>、永松 浩、鬼塚千絵、田中 宗、大住伴子、森川和政、西原達次、コミュニケーション教育をベースとしたプロフェッショナリズム教育、日本ヘルスコミュニケーション学会雑誌、査読有、5(1)、2015、pp.15-17、

③伊藤孝訓、鈴木一吉、藤崎和彦、<u>木尾哲朗</u>、医療コミュニケーション・ファシリテータ養成セミナー10 周年記念シンポジウム、日歯教誌、査読有、32（３）、2016、pp.126-130、

④山本龍生、<u>木尾哲朗</u>、尾崎哲則、樫則章、角忠輝、平田創一郎、和田尚久、平田幸夫、全国歯科大学・歯学部における「2013 年度版 よき歯科医師になるための 20 の質問 倫理的検討事例集」の利用状況、日歯教誌、査読有、32（２）、2016、pp.93-99、

〔学会発表〕（計　１２件）

①中村由紀、前田直美、中村桃子、星野桂子、松下智美、渕上祐子、福屋祐子、杉山裕香、中　雅美、鬼塚千絵、永松　浩、<u>木尾哲朗</u>、秋房住郎、引地尚子、柿木保明、寺下正道、九州歯科大学口腔保健学科学生における学年毎の目標の変化、第 75 回九州歯科学会総会・学術大会、2015、5 月、北九州、

②<u>木尾哲朗</u>、鬼塚千絵、上原秀樹、池田盛多、牟田悟朗、永松 浩、板家 朗、西野宇信、村橋　護、日本歯科医療管理学会九州支部大会で実施したワークショップの概要とその成果の考察、第 56 回日本歯科医療管理学会総会・学術大会、2015、5 月、岡山、

③山口摂崇、福泉隆喜、唐木純一、角舘直樹、中原孝洋、永松 浩、<u>木尾哲朗</u>、日高勝美、西原達次、定期的な歯科受診状況が在宅高齢者の口腔内状況及び身体状況に及ぼす研究、第 56 回日本歯科医療管理学会総

会・学術大会、2015、5 月、岡山、
④板家 朗、鬼塚千絵、永松 浩、西野宇信、木尾哲朗、研修歯科医は研修修了後の進路・就職先の選択に何を重視するのか、第 34 回日本歯科医学教育学会総会および学術大会、2015、7 月、鹿児島、
⑤鬼塚千絵、永松 浩、板家 朗、西野宇信、木尾哲朗、歯学科 4 年次生が考える歯痛の疾患名の鑑別診断に関する調査研究、第 34 回日本歯科医学教育学会総会および学術大会、2015、7 月、鹿児島、
⑥鬼塚千絵、永松 浩、杉本明子、宮本郁也、板家朗、瓜生和彦、吉岡 泉、木尾哲朗、智歯周囲炎について学修前後の学生が鑑別診断に有効と考える言語情報の研究、第 47 回日本医学教育学会大会、2015、7 月、新潟、
⑦吉田登志子、高永 茂、脇 忠幸、木尾哲朗、鈴木一吉、伊藤孝訓、藤崎和彦、小川哲次、谷口直隆、阿部恵子、今福輪太郎、宮原 哲、野中昭彦、灘光洋子、石川ひろの、大西弘高、鳥井康弘、俣木志朗、医療コミュニケーション教育に役立つ理論や概念とは何か、第 7 回日本ヘルスコミュニケーション学会、平成 27 年 9 月、福岡、
⑧板家 朗、鬼塚千絵、永松 浩、木尾哲朗、就職先を短期間で退職する理由　-研修終了後に勤務した歯科診療所にて-、第 8 回日本総合歯科学会総会・学術大会、2015、11 月、東京、
⑨角野夢子、板家 朗、鬼塚千絵、永松 浩、木尾哲朗、女性歯科医師のキャリア形成について、第 8 回日本総合歯科学会総会・学術大会、2015、11 月、東京、
⑩）大住伴子、引地尚子、三阪美恵、角舘直樹、木尾哲朗、医療コミュニケーションにおける歯学科および口腔保健学科学生に対する多職種連携教育の試み、第 35 回日本歯科医学教育学会総会および学術大会、2016 年 7 月、吹田市、
⑪木尾哲朗、ファシリテータ養成セミナーにおける教育プロフェッションの養成、日本歯科医学教育学会第 35 回大会シンポジウム、2016 年 7 月、吹田市
⑫木尾哲朗、他職種連携（IPW）を行なうためのプロフェッショナリズムを考えよう、日本歯科衛生士教育学会第 9 回大会セミナー、2016 年 12 月、東京都、

〔図書〕（計　5件）
①小川哲次、藤崎和彦、大西弘高、伊藤孝訓、木尾哲朗、長谷川篤司、鈴木一吉、吉田登志子、歯学部学士課程の学生は医療面接の医療コミュニケーション、診断推論そして行動変容をどのように段階的に学ぶべきか？ 岐阜大学医学教育開発研究センター編. 三恵社. 名古屋. 新しい医学教育の流れ 14 夏. 2015. 157-190.
②平田幸夫、樫 章、小川哲次、尾﨑哲則、木尾哲朗、平田創一郎、山本龍生：「2013 年度版 よき歯科医師になるための 20 の質問、倫理的事例集」第 2 刷. AMC. 北九州. 2015、
③鬼頭文恵、 永松 浩、 鬼塚千絵、木尾哲朗、岐阜大学医学教育開発研究センター 編集、新しい医学教育の流れ‘ 14 秋、2015、115-116、
④瀬田千尋、永松 浩、鬼塚千絵、安永 愛、板家 朗、森川和政、木尾哲朗、岐阜大学医学教育開発研究センター編. 三恵社. 名古屋、ロードマップを読めるようになるためには何が必要か？ 新しい医学教育の流れ 14 夏. 2015、195-196、
⑤伊藤孝訓、小川哲次、木尾哲朗ほか、三恵社、新しい医学教育の流れ 16「歯科医療面接のキャップストーン、マイルストーンを作ろう」、2016、30-35、

〔産業財産権〕

○出願状況（計　　０件）

○取得状況（計　　０件）

〔その他〕
ホームページ等

６．研究組織
(1)研究代表者
木尾　哲朗（Konoo、 Tetsuro）
九州歯科大学歯学部・教授
研究者番号：１０２０５４３７

(2)研究分担者

(3)連携研究者
小川　哲次（Ogawa、 Tetsuji）
広島大学病院・教授
研究者番号：５０１１２２０６

俣木　志朗（Mataki、 Shiro）
東京医科歯科大学歯学部・教授
俣木志朗：８０１５７２２１

樋口　勝規（Higuchi、Katsunori）
九州大学歯学部・教授
研究者番号：７０１１７２２４

廣藤　卓雄（HiroFuji、 Takao）
福岡歯科大学・教授
研究者番号：１０１８９８９７

伊藤　孝訓（Itou、 Takanori）
日本大学松戸歯学部・教授
研究者番号：５０１７６３４３

岡藤　範正（Okafuji、 Norimasa）
松本歯科大学・教授
研究者番号：５０１９４３７９

吉田　登志子（Yoshida、 Toshiko）
岡山大学医療教育統合開発センター・助教
研究者番号：１０３０４３２０

鈴木　一吉（Suzuki、 Kazukichi）
愛知学院大学歯学部・講師
研究者番号：８０２８１４６８

関本　恒夫（Sekimoto Tsuneo）
日本歯科大学新潟生命歯学部・教授
研究者番号：４００９５１７０

長谷川　篤司（Hasegawa、 Tokuji）
昭和大学歯学部・教授
研究者番号：１０１８０８６１

田口　則宏（Taguchi、 Norihiro）
鹿児島大学大学院医歯学総合研究科・教授
研究者番号：３０３２５１９６

樫　　則章（Katagi、 Noriaki）
大阪歯科大学倫理学室・教授
研究者番号：４０１９４７６６